



## ふるさと洞爺湖の生物多様性保全活動に参加 「ウチダザリガニ」調査から「生物多様性」を学びます

イオン北海道株式会社は、洞爺湖生物多様性保全協議会が主催するウチダザリガニ防除の取組みに賛同し、JAとうや湖と協力してウチダザリガニ防除活動に参加します。そしてその活動を通じて、イオン伊達チアーズクラブの子どもたちとボランティアの皆さま48名とともにふるさと洞爺湖に住む生き物を観察し、「生物多様性」について学び、考えていく勉強会を実施いたしますので、ご案内申し上げます。

イオングループは2010年3月1日に「イオン生物多様性方針」を発表し、「事業活動全体における、生態系への影響を把握し、お客さまや行政、NGOなどステークホルダーの皆さまと連携しながら、その影響の低減と保全活動を積極的に推進します」という基本方針のもと、生物多様性保全に取り組んでおります。

また、イオンのプライベートブランド「トップバリュ グリーンアイ」は、自然の持つ力を最大限にいかして生産され、地球環境にやさしいことをコンセプトにしており、「JAとうや湖」でも「トップバリュ グリーンアイ」は生産されています。「JAとうや湖」はより環境負荷の少ない生産活動の手法を模索していくとともに、地域の環境保全、生態系保全の活動に積極的に参加しています。

そこで、JAとうや湖とともに洞爺湖生物多様性保全協議会が実施しております特定外来種「ウチダザリガニ」の防除活動に協力させていただき、生物多様性について学ぶ機会を設けることとなりました。イオン北海道からはイオン伊達チアーズクラブ（ポスフル伊達店主催の小学生を中心とした環境を学ぶクラブ）とボランティアが参加し、水揚げされたウチダザリガニの選別作業の手伝いを通して、“ふるさと”洞爺湖の生態系や生物多様性保全の大切さについて学びます。

イオン北海道はこれからも、道内の生物多様性保全のため様々な取り組みを積極的に進めてまいります。



## 記

日 時：2010年9月18日（土） 10：30～12：30

場 所：ホテル「洞爺サンパレス」の栈橋

参加者：洞爺湖生物多様性保全協議会、JA とうや湖、イオン伊達チアーズクラブ  
ボランティアの皆さま

実施内容：捕獲し水揚げされたウチダザリガニを参加者全員でオス・メスに分け、  
サイズを測る作業を手伝う。

※ウチダザリガニは有資格者のみ捕獲することができます。

### 【ご参考①：ウチダザリガニについて】

ウチダザリガニは、1930年、アメリカから食用として摩周湖に導入され、その後道内各地に広がった外来種。

在来種であるニホンザリガニを捕食するなど生態系に様々な影響を及ぼす恐れがあることから、2006年2月、外来生物法に基づく特定外来生物に指定され、新たな放流や生きた個体の運搬などが規制されている。

### 【ご参考②：洞爺湖生物多様性保全協議会について】

洞爺湖水域及びその周辺水系の生態系・生物多様性を保全する為に、生態系への影響が大きいウチダザリガニをはじめとする特定外来生物等の効率的な防除を行い、希少種の保護や自然環境の改善、水産資源の保全等に寄与することを目的として、2009年2月に設立。

構成者：洞爺湖町、壮瞥町、洞爺湖町教育委員会、壮瞥町教育委員会、  
社団法人 洞爺湖温泉観光協会、NPO法人 そうべつ観光協会、  
NPO法人 洞爺まちづくり観光協会、洞爺湖漁業協同組合、  
UWクリーンレイク洞爺湖、  
酪農学園大学 環境システム学部 生命環境学科 野生動物保護管理学研究室、  
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 洞爺臨湖実験所

以上